

学校紹介新聞

土浦市立 右俣小学校



◆校長 中山 弘
◆児童数 261人
◆創立 1979年
◆住所 土浦市右俣 1728の3

わくわく学校行事

イベント「クエストウォーク」に参加した児童たち



縦割り班 楽しくゲーム



昨年の秋、PTAの方がクエストウォークというイベントを実施してくれました。教室ごとに楽しいゲームができるブースが作られ、縦割り班ごとに行動しました。

私たちの班は箱の中の物を当てたり、目的のものを見つけたりして、楽しく活動しました。ブースごとにスタンプを押してもらい、スタンプを全部集めると、くじを引いて、景品がもらえます。私たちの班もスタンプを全部集め、どきどきしながら景品がもらえる場所に行きました。

残念ながら10位以内に入ることはできませんでしたが、一緒に行動した班の子たちと楽しくクエストウォークを行いました。このような企画を考えてくれたPTAの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

(6年 由島瑠美香)

こんな学校です!



芝生で遊ぶ児童たち 土浦市右俣

一面芝生の校庭が自慢



私が通っている小学校の校庭は、芝生で一面がおおわれています。芝生のおかげで転んでも痛くないし、寝転がることもできます。夏は裸足で遊ぶこともできます。全校児童が、芝生が生い茂っている校庭で毎日楽しく遊んでいます。先日は、低学年の子がケガなどをしないように6年生全員で芝生に危険物がないかどうか確認を行いました。

そんな右俣小学校自慢の芝生を管理してくれているの

は、地域のグリーンプロジェクトの人たちです。芝生をいつも同じ高さに切りそろえてくれたり、定期的に冬芝の種をまいてくれたり、芝生の管理や手入れを全て行ってくれています。

そんな方たちのおかげで、私たちは安心して、楽しく芝生の上で遊べます。見えないところで、私たちのためにがんばってくれているボランティアの皆さんに、いつも心の中でお礼を言いながら学校生活を過ごしています。

(6年 戸崎新菜)

他校GIGA端末で交流する児童たち



ICT活用

端末つなぎ他校交流



静岡県富士宮市の内房小学校と、水戸市の稲荷第一小学校を1人1台端末をつないで、社会科の学習発表会を行いました。発表会では、グループに分かれて自分たちが住む地域の紹介をしました。ぼくは、土浦の特産物レンコンの紹介をしました。内房小の友だちからは、竹が有名ということで、「竹明かり」を作ったことを聞きました。稲荷第一小の友だちからは、納豆の種類が豊富であることを教えてもらいました。

GIGA端末を通じて、お互いの地域の特色について驚いたり、地域にまつわるクイズを出し合ったりして、楽しく学習できました。遠くに住んでいる友だちから今まで知らなかった地域の良さを教わることができ、自分の住む地域の良さも再確認できました。次もいろいろな地域の学校とオンライン学習をやってみたいです。

(5年 磯部涼)

私たちのまち



神社の歴史(れきし)の説明を受ける児童たち

地域見守る日先神社



生活科の学習で町たんけんに行きました。学校のまわりには、今まで知らなかった場所がたくさんありました。初めて行く道だったので不安もありましたが、スクールボランティアの方も一緒についてきてくれて、安心して歩くことができました。

特に驚いたのが、学校近くの日先神社です。宮司さんは、私たちが来るのを楽しみにしてくれていました。神社のことや地域の話をしてくれました。神様は一はしら、二はしらと数え、日先神社は二はしらの神様がいて地域を守ってくれていることを知りました。昔は戦争に行く人が多かったため、日先神社には戦争に行く人が無事に帰ってくるようお願いを込めた品々がたくさんあることを知りました。

町たんけんをして、みんなにも見守られているんだなと気づくことができました。

(2年 塚原涼)

次回は8月9日 行方市立北浦中学校です

茨城新聞 第14回 新聞感想文コンクール

新聞を読んで感じたこと
あなたの言葉で書いてみよう



応募資格
小中学校や高校に在学する児童・生徒。
小学1～3年、小学4～6年、中学生、高校生の4部門

応募課題
2023年1月以降に載った新聞記事を読んだ感想。
小学1～3年生は家族に記事を読んでもらい、感想を作文にしたものでも結構です。
※著作権は茨城新聞社に帰属します。作品の返却はしません。

応募方法
①学校単位でも個人でも応募可能(未発表作品1人1点に限る)
②募集要項チラシ裏面の専用の原稿用紙(コピー可)か、市販のB4版400字詰め原稿用紙を使用してください。
③専用の原稿用紙の場合は、記入欄に必要な事項を書くこと。
市販の原稿用紙の場合は、1ページ目の1行目に題名、2行目に学校名、学年、3行目に氏名(ふりがな)、4行目に新聞名と掲載日を記入し、5行目から書き始めてください。作品の最後に住所、電話番号、保護者氏名を記入してください。
④原稿用紙と同じ大きさ(B4)の紙に、読んだ記事(コピー可)を貼り、原稿とセットして送付する。
⑤小学1～3年生は400～600字、小学4～6年生は600～800字、中学生、高校生は800～1200字。
⑥学校単位で申し込む際は、学校名と応募児童・生徒の名簿(漢字・ふりがな)、担当教諭名、連絡先を添付してください(体裁自由)。

応募先
〒310-8686 水戸市笠原町978-25
茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係

応募締切
2023年11月6日(必着)

表彰
①文部科学大臣賞、知事賞、県教育長賞、茨城新聞社長賞、茨城県会長賞など。
②上位入賞者は、2023年12月、茨城新聞の紙面で発表します。
③表彰式は、2024年2月3日(土)に水戸市内で開催予定です。

ご自宅で新聞を購読されていない方は茨城新聞を7日間無料お試し読みできます。
お申し込み ☎0120-029-218

主催:茨城新聞社、茨城新聞茨城会 後援:文部科学省、茨城県、茨城県教育委員会 協力:県新聞教育研究会、県教育研究会、県学校長会、県高等学校長協会、県PTA連絡協議会、県高等学校PTA連合会、県私学協会

お問い合わせ

茨城新聞社販売局 新聞感想文コンクール係
TEL029(239)3030 平日9:00～17:00

または右のQRコードからHPへ